

## 第 88 回「CSR-BOP ウォッチ」の会合

### 『青年海外協力隊フィールド調査団、フィリピンでの活動報告』

\*Skype にて現在赴任中の隊員 2 名、会場にて今年帰国の 1 名が発表します。

(報告者 1)

新谷好生「農村部における雇用・求人実態の調査と就労率向上の取り組み」  
イロイロ州ドゥエニャス町役場 地域経済投資促進課 (2014 年 10 月～16 年 10 月)

(報告者 2)

山路健造「ココナッツ農家の収入向上に向けた機材導入のための実態調査」  
南カマリネス州ティナンバック町 農業事務所 (2014 年 10 月～16 年 10 月)

(報告者 3)

杉山愛「女性の社会進出と手工芸品を通じた支援」  
ソルソゴン州グバット町サンタアーナ村 (2013 年 5 月～15 年 3 月)

(司会)

宝本美佐 (フィリピンフィールド調査団メンター)  
アジア戦略アドバイザー

2015 年 11 月 18 日 (水) 18:15 - 19:45

場所：東京国際大学法人本部 4 階多目的ホール

(JR 高田馬場駅、戸山口から徒歩 3 分)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4 丁目 23-23 (03-3362-9641)

東京国際大学法人本部への地図 <http://www.kef.ac.jp/map.html>

### [講師内容]

青年海外協力隊フィールド調査団 (\*詳細下記) の活動は、アフリカで始まりましたが、2013 年よりフィリピンでも活動を開始し、これまで 18 名の隊員が関わってきました。今回は、「フィリピン農村部の雇用問題、農家の収入向上、女性の社会進出支援の実態」について、フィリピン調査団の現地での経験と実態調査を踏まえ、コミュニティレベルでの活動をお伝えします。

フィリピン農村部では雇用創出が課題になっています。しかし、実態はコネによる採用が主流で、公平な採用プロセスが行われていません。新谷隊員より任地での雇用・求人実態に関する調査から見てきたことを発表してもらいます。

近年日本でブームになっているココナッツオイルは、フィリピンでは庶民が普段から使えるものではなく、生産農家の多くはいまだに非常に安価な取引に応じざるを得ません。農産品販売にとどまらず、加工プロセスを導入することで収入向上に繋がられないか、山路隊員が報告いたします。

フィリピンの女性進出は世界でも上位にランクされるほど進んでいると言われていますが、これは都市部の中産階級の一部エリート女性に関する数値であり、貧困下にある女性たちの状況は大きく異なります。地元の手芸品活動に 2 年間関わり、すでに日本に帰国した杉山元隊員が、フェアトレード、手芸品を通して行われている支援に関して分析し、その意義と実情を報告します。また、女性の社会進出・活用に関して、何か良いヒントが無いか、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

### [報告者略歴]

新谷好生

2012年東北大学経済学部卒業。マーケティングを専攻。地方銀行で1年、教育機関で1年勤務後、協力隊参加直前は株式会社マザーハウスにてインターンを経験。フィリピン任地では雇用創出と収入向上が要請目標であり、地場産品を用いたお菓子とジュースの生産販売を行う組織を立ち上げ、商品開発・生産管理・販路開拓の支援中。フィールド調査団では、雇用創出という観点から求人と求職者のマッチングの可能性を探るため、雇用・求人と求職者の実態調査を行っている。

#### 山路健造

大分市出身。2007年立命館アジア太平洋大学卒業後、西日本新聞社に入社、まちづくりや事件事故、地方自治などを取材。2014年2月に同社を退社し、青年海外協力隊に参加。任地では有機農業やごみ処理を担当。国際協力や途上国をテーマにしたネットメディア「開発メディア ganas」で連載を持つほか、活動をつづったブログ「ココナツの樹の下で」はほぼ毎日更新中。2016年2月のフィリピン協力隊派遣50周年式典の実行委員長を務める。

#### 杉山愛

千葉県出身。大学卒業後、国内自動車メーカーで社有車拡販の法人営業に約4年間従事。2013年3月より会社を休職、現職参加制度を利用して青年海外協力隊に参加。協力隊時代は、女性グループの組織化と手工芸品を通じた生計向上支援、また度重なる災害をきっかけに、コミュニティガーデンの運営支援とコミュニティ防災の支援を他隊員と協力し行った。協力隊活動の傍らフィールド調査団に参加、また任地での調査や経験をもとに大学院に進学。2015年日本福祉大学大学院国際社会開発研究科を修了。現在は復職して、再び法人営業として社有車拡販に携わる

#### 宝本美佐

アジア戦略アドバイザー リサーチャー

1999年神戸大学発達科学部卒業。人事コンサルティング会社を経て、2007年シカゴ大学 MBA 修了。サマーインターンでは米国マイクロファイナンス機関 Opportunity International によるケニア MFI 買収後の経営改革に携わる。2007年独立系運用会社勤務後、2010年 JP モルガン証券にてデリバティブ業務に従事。2012年よりコンサルタントとして主に東南アジアの案件に携わる。

#### \*フィールド調査団とは

世界のグローバル化、また日本企業の新興国進出の増加に伴い、新興国経済や BOP (Base of the Pyramid) 市場の理解の重要性が増してきています。これらをマクロ・レベルから考察したレポートは多いのですが、村の様子や個人の消費行動など、ミクロ・レベル/現場レベルの視点からの情報はなかなか見つけることができません。「青年海外協力隊フィールド調査団」は、そういったミクロな情報発信において、新興国の村落部で地に足をつけて活動している青年海外協力隊が貢献できるのではないかと、という課題意識ではじまったイニシアティブです。現場で活躍する協力隊員の人材開発を目的とし、限られた任期に効果的な活動が展開できるようメンターや協力者によるサポートを行っています。